

知的生産性アイデアコンペ



課題

知的生産性を向上させる 建築・環境に関するアイデア

～私の知的生産性を刺激する「空間」と「時間」～

- 主催 一般社団法人 日本サステナブル建築協会
- 共催 財団法人 建築環境・省エネルギー機構
- 協力 知的生産性研究コンソーシアム

<http://www.jsbc.or.jp>

◎お問い合わせ先

一般社団法人 日本サステナブル建築協会 アイデアコンペ担当
〒102-0083 東京都千代田区麴町 3-5-1
TEL : 03-3222-6391
FAX : 03-3222-6696
Email : chiteki@jsbc.or.jp

知的生産性を向上させる建築・環境に関するアイデア ～私の知的生産性を刺激する「空間」と「時間」～

現在は知識を基盤とする社会、ナレッジ・エコノミーの時代と言われています。

知識社会では、知識の生産、すなわち知的生産性が経済の競争力を決定します。ナレッジ・エコノミーの主な役割は、オフィス、教育・研究機関、病院さらには住宅などにおけるナレッジ・ワーカーであり、知識社会ではこうした人々の生産性を上げること、そしてそのための知識創造空間の創出が必須といえます。

以上のような背景のもと、一般社団法人日本サステナブル建築協会(略称：JSBC)では知的生産性研究委員会を設置し、産官学の協働による幅広い分野の識者の協力を得て、平成19年より建築環境における知的生産性の研究に取り組み、平成24年度に知的生産性に優れた建築環境創造のためのガイドラインをまとめることを目標に研究を進めています。

知的生産性には組織の人間関係や居住環境水準を含め、多くの要素が関連しますが、なかでもナレッジ・ワーカーが働く「場所」は知的生産性に特に大きな影響を与えます。

この「場所」あるいは「空間」を構成するのは建築物であり、それを知的生産性の高いものにするには、建築分野の責務とも言えます。また、それは建築にかかわる新しい付加価値の創造にもつながります。しかし知的生産性に優れた空間が如何なるものか、知

的生産性の高い空間の設計方法や知的生産性そのものの測定方法など未だ多くの検討課題があり、これら課題への取組みが求められています。

知的生産性研究委員会では、これらの課題に対応するための様々な調査研究を実施してきましたが、その成果をより具体で役に立つものとするためには、この新しい概念を広く社会に提示し、その重要性をあらためて認知していただくと同時に、建築空間をつくる人、つかう人のアイデアやユニークな視点からの提案をいただき、今後の研究に活かしていく必要があるとの考えに達しました。

このようなことから、知識創造空間の実現に向けて、働く「場所」はどうあるべきか、どうしたらよいかなどを「空間」と「時間」の視点から捉え、個人の生理や心理に良い影響を与え、組織としての場の活性化につながり、ひいては個人や組織の知識創造につながる独創的アイデアを幅広い立場の方々から募集することといたします。

アイデアは「つくる立場から」と「つかう立場から」の2つの部門を設けて募集します。

知的生産性という概念を幅広くとらえ、オフィスに限らず、学校や病院などの様々な空間に対する幅広い視点からの提案を求めます。ただし、空間や建築環境などに直接関わらない事柄に関する応募は対象外とします。

4 作品の規定

5 作品提出締切

6 審査委員

7 表彰

8 結果発表

9 作品送付先

A部門/「つくる立場から」

A2 (594×420 mm)用紙1枚。実作ではなく、提案を求めます。レイアウト、図面、図表等、表現は自由です。裏面に受付番号を記入して提出してください。

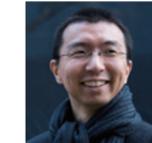
B部門/「つかう立場から」

A4用紙5枚以内。文字数、レイアウト、図表等、表現は自由です。裏面に受付番号を記入して提出してください。CD-R等のメディアでの応募も歓迎しますが、メディア裏面に受付番号を記入し、内容を300字以内で説明する文書を添えて提出してください。

提出締切 平成23年2月22日(火) (当日消印有効)

- ※直接持参される場合は、業務時間内(平日9:30～17:30)とします。
- ※応募点数に制限はありません。
- ※指定された用紙サイズ以外の応募は無効です。
- ※応募作品は返却いたしません。
- ※すべての応募作品の著作権は作者に帰属しますが、使用权は主催者に帰属するものとします。

審査員長



藤本 壮介
(ふじもと そうすけ)
建築家
藤本壮介建築設計事務所

審査員



合場 直人
(あいはな なおと)
三菱地所(株)
常務執行役員
ビルアセット開発部、
都市計画事業室担当

審査員



仲條 亮子
(なかじょう あきこ)
早稲田大学大学院
ファイナンス研究科
非常勤講師

審査員



六鹿 正治
(ろくしか まさはる)
建築家
(株)日本設計
代表取締役社長

審査員



宗本 順三
(むねもと じゅんぞう)
知的生産性研究委員会
建築空間部会長
建築家
岡山理科大学総合情報学部
建築学科教授
京都大学名誉教授

審査員



川瀬 貴晴
(かわせ たかはる)
知的生産性研究委員会
環境・設備部会長
千葉大学 大学院
工学研究科
建築・都市科学専攻教授

A部門

- 最優秀賞：1点 賞金 50万円
- 優秀賞：2点 賞金 10万円
- 佳作：数点

B部門

- 最優秀賞：1点 賞金 10万円
- 優秀賞：2点 賞金 5万円
- 佳作：数点

受賞者には3月23日(火)までに連絡します。(落選した方への通知はいたしません)表彰式の開催日と会場は以下を予定しています。

日時：平成22年3月30日(水) 13:30～15:30

会場：建築会館ホール(東京都港区芝5丁目26番20号)

※入選作品はホームページ等でも発表いたします。
※開催時間等に変更があった場合は、ホームページ等でご案内いたします。

一般社団法人 日本サステナブル建築協会 アイデアコンペ担当
〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-1 全共連ビル麹町館 TEL 03-3222-6391

1 応募者

「つくる立場から」と「つかう立場から」の2つの視点で募集します。「つくる立場から」は建築に携わる実務者、研究者、学生等であることを条件とします。「つかう立場から」は特に条件を設けず、働く人、利用する人、建物を企画する人、運営する人など広い立場からの応募を求めます。

2 選考の考え方

審査は次の点を重視し、審査委員の合議の上、総合的に審査します。
○各種建築空間や建築環境(光・視環境、熱、空気、音など)に関連付けた提案であること。
○創造的活動を高めるきっかけとなるような、建築とその周辺環境に関する独創的な提案であること。
○現時点では具体化することが難しくても、将来的には実現の可能性があり、働く人、勉強する人などが、より豊かな発想を行うことができるようになるような提案であること。

3 参加登録

事前にホームページ(<http://www.jsbc.or.jp/compe/index.html>)から参加登録を行って下さい。受付後に、メールにて受付番号をお送りします。
平成22年12月10日(金)から参加登録の受付を開始します。